

川崎都市計画道路の変更（川崎市決定）

1. 都市計画道路中 3・5・2 号矢向鹿島田線ほか 3 路線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・5・2	矢向鹿島田線	幸区塚越 3 丁目（横浜市界）	中原区市ノ坪	幸区鹿島田 1 丁目	約 2,620m	地表式	2 車線	12m	幹線街路と平面交差 2 箇所	
	3・5・3	大田神奈川線	中原区上平間（東京都界）	幸区南加瀬 5 丁目（横浜市界）	幸区北加瀬 3 丁目	約 3,340m	地表式	2 車線	15m	東日本旅客鉄道南武線と立体交差 東日本旅客鉄道横須賀線と立体交差 東日本旅客鉄道武蔵野南線と立体交差 幹線街路と平面交差 8 箇所	
	3・5・9	古市場矢上線	幸区古市場 1 丁目	幸区矢上（横浜市界）	幸区鹿島田 1 丁目	約 2,920m	地表式	2 車線	12m	東日本旅客鉄道南武線と立体交差 東日本旅客鉄道横須賀線と立体交差 東日本旅客鉄道武蔵野南線と立体交差 幹線街路と平面交差 3 箇所	
	なお、幸区鹿島田 1 丁目地内に鹿島田駅西口広場を設ける。										面積約 1,000 m ²
3・5・10	塚越南加瀬線	幸区塚越 3 丁目	幸区南加瀬 5 丁目（横浜市界）	幸区小倉 2 丁目	約 2,320m	地表式	2 車線	12m	東日本旅客鉄道横須賀線と立体交差 東日本旅客鉄道武蔵野南線と立体交差 幹線街路と平面交差 2 箇所		

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

2. 都市計画道路に 7・7・8 号区画街路 1 3 号線ほか 7 路線を次のように追加する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
区画街路	7・7・8	区画街路 1 3 号線	中原区田尻町	中原区田尻町	中原区田尻町	約 250m	地表式	/	6m		
	7・7・9	区画街路 1 4 号線	中原区北谷町	中原区下沼部	中原区中丸子	約 1,230m	地表式		6m		
特殊街路	8・7・7	南武線沿道 1 号線	幸区塚越 1 丁目	幸区東小倉	幸区塚越 1 丁目	約 440m	地表式	/	5m		自転車歩行者専用道路
	8・7・8	南武線沿道 2 号線	幸区小倉	幸区鹿島田 1 丁目	幸区小倉	約 340m	地表式		5m		自転車歩行者専用道路
	8・7・9	南武線沿道 3 号線	幸区鹿島田 1 丁目	幸区鹿島田 1 丁目	幸区鹿島田 1 丁目	約 370m	地表式		5m		自転車歩行者専用道路
	8・7・10	南武線沿道 4 号線	幸区鹿島田 2 丁目	中原区上平間	幸区鹿島田 2 丁目	約 360m	地表式		5m		自転車歩行者専用道路
	8・7・11	南武線沿道 5 号線	中原区上平間	中原区田尻町	中原区田尻町	約 460m	地表式		5m		自転車歩行者専用道路
	8・7・12	南武線沿道 6 号線	中原区北谷町	中原区下沼部	中原区中丸子	約 1,360m	地表式		5m		自転車歩行者専用道路

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理 由 書

都市計画道路は、都市の骨格を形成し、都市における人や自動車交通などの円滑な移動を確保するとともに、都市の将来像を方向付け、市街地環境の形成に大きな影響を与える根幹的な都市施設です。

本案の矢向鹿島田線は、東日本旅客鉄道南武線と並行し、本市川崎・小杉駅周辺エリアの南北を結ぶ幹線道路であり、昭和21年8月の都市計画決定以来、現在まで、総延長約545mが完成しております。本路線において、南武線の矢向駅から武蔵小杉駅間における連続立体交差事業を別線高架工法で行うこと、及び大田神奈川線との交差部の安全性を向上させるために、位置、区域及び幅員の変更を行うとともに、車線数を全線において定めるものです。なお、幅員の変更に伴う自転車歩行者の通行機能の一部は特殊街路とあわせて確保するものとなります。

本案の大田神奈川線は、南武線と交差し、本市川崎・小杉駅周辺エリアの東西を横断する幹線道路であり、昭和21年8月の都市計画決定以来、現在まで、総延長約1,945mが完成しております。本路線において、南武線が高架となるためによる交差の構造の変更、及び矢向鹿島田線との交差部等の安全性を向上させるためによる区域の変更を行うとともに、車線数を全線において定めるものです。

本案の古市場矢上線は、南武線と交差し、本市川崎・小杉駅周辺エリアの東西を横断する幹線道路であり、昭和24年5月の都市計画決定以来、現在まで、総延長約2,826mが完成しております。本路線において、南武線が高架となるために、交差の構造の変更を行うものです。

本案の塚越南加瀬線は、本市川崎・小杉駅周辺エリア西側に位置する幹線道路であり、昭和32年12月の都市計画決定以来、現在まで、総延長約472mが完成しております。本路線において、矢向鹿島田線との交差部の右折車線設置に向けた必要な幅員を確保するために、区域の変更を行うとともに、車線数を全線において定めるものです。

本案の区画街路13号線及び14号線は、南武線の西側において連続立体交差事業区間と並行し、都市環境の保全等を図るために、都市計画決定するものです。

本案の特殊街路南武線沿道1号線から6号線は、南武線の東側において連続立体交差事業区間と並行し、都市環境の保全を図るために、また、1号線から4号線は矢向鹿島田線の自転車歩行者の通行機能の一部を担うために、都市計画決定するものです。

新旧対照表

新旧	種別	名称		位置			区域	構造				備考
		番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
新	幹線街路	3・5・2	矢向鹿島田線	幸区塚越3丁目(横浜市界)	中原区市ノ坪	幸区鹿島田1丁目	約2,620m	地表式	2車線	12m	幹線街路と平面交差2箇所	
		3・5・3	大田神奈川線	中原区上平間(東京都界)	幸区南加瀬5丁目(横浜市界)	幸区北加瀬3丁目	約3,340m	地表式	2車線	15m	東日本旅客鉄道南武線と立体交差 東日本旅客鉄道横須賀線と立体交差 東日本旅客鉄道武蔵野南線と立体交差 幹線街路と平面交差8箇所	
		3・5・9	古市場矢上線	幸区古市場1丁目	幸区矢上(横浜市界)	幸区鹿島田1丁目	約2,920m	地表式	2車線	12m	東日本旅客鉄道南武線と立体交差 東日本旅客鉄道横須賀線と立体交差 東日本旅客鉄道武蔵野南線と立体交差 幹線街路との平面交差3箇所	
		なお、幸区鹿島田1丁目地内に鹿島田駅西口広場を設ける。										
		3・5・10	塚越南加瀬線	幸区塚越3丁目	幸区南加瀬5丁目(横浜市界)	幸区小倉2丁目	約2,320m	地表式	2車線	12m	東日本旅客鉄道横須賀線と立体交差 東日本旅客鉄道武蔵野南線と立体交差 幹線街路と平面交差2箇所	
旧	幹線街路	3・5・2	矢向鹿島田線	幸区塚越3丁目(横浜市界)	中原区市ノ坪 字新田	幸区鹿島田	約2,610m	地表式		15m	幹線街路と平面交差2箇所	
		3・5・3	大田神奈川線	中原区上平間 字玉川 淵(東京都界)	幸区南加瀬 字辻(横浜市界)	幸区北加瀬	約3,340m	地表式		15m	国鉄南武線と平面交差 国鉄湘南新線と立体交差 国鉄品鶴線と立体交差 幹線街路と平面交差8箇所	
		3・5・9	古市場矢上線	幸区古市場1丁目	幸区矢上(横浜市界)	幸区鹿島田	約2,920m	地表式	2車線	12m	東日本旅客鉄道南武線と平面交差 東日本旅客鉄道東海道貨物線と立体交差 東日本旅客鉄道武蔵野線と立体交差 幹線街路との平面交差3箇所	
		なお、幸区鹿島田地内に鹿島田駅西口広場を設ける。										
		3・5・10	塚越南加瀬線	幸区塚越3丁目	幸区南加瀬 字榎戸(横浜市境)	幸区小倉	約2,320m	地表式		12m	国鉄湘南新線と立体交差 国鉄品鶴線と立体交差 幹線街路と平面交差2箇所	